

IX 周術期管理チーム



周術期医療の安全と質の向上を目指し、公益社団法人日本麻酔学会は平成19年より「周術期管理チーム」を提唱している。平成26年に日本麻酔学会より周術期管理チームの一員である看護師を対象に認定制度が開始された。

当院でも、28年度より周術期管理チームが発足した。30年度は麻酔科・ICU・歯科口腔外科の医師8名、手術看護認定看護師・周術期管理チーム看護師・感染管理認定看護師・禁煙外来看護師の8名、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士、診療支援課事務員の4名がチームとなって活動した。周術期における患者に対し、最適な状態で安心・安全な手術と効率的な周術期環境を提供することを活動の目標としている。

30年度は、手術室での緊急コール（エマージェンシー）時の現状分析と症例提示による情報共有、周術期口腔機能管理料の創設と改訂の流れ、厚生労働省からの働き方改革の指示（外科、麻酔科診療と特定行為研修を終了した看護師養成の育成）などの勉強会を行った。また、手術室看護師の術後訪床で発見された神経障害（専門家への迅速なコンサルトに繋がったケース）や長時間体位固定に伴う疼痛の報告、術中体位における問題点、皮膚障害や褥瘡への取り組み（術後訪問による確認、体圧測定など）が議題とされた。また、前年度に引き続き、歯科口腔外科医と連携し呼吸器関連肺炎（VAP）予防のための口腔ケアに取り組んだ。実施に関しての詳細は以下の通りである。

IX-1 30年度 脳神経外科緊急手術時・術前口腔ケア実施件数

区	分	件	数
脳神経外科全身麻酔緊急手術件数	69件（平日49件）		
口腔ケア実施件数	34件		
平日/土日・祝日	21件	13件	
手術時間 1～6時間/6時間以上	25件	9件	
入室前挿管/手術室にて挿管	10件	24件	
抜管して退室/挿管のまま退室	14件	20件	

緊急手術時の口腔ケアの実施が脳神経外科緊急手術後での、呼吸器関連肺炎(VAP)予防につながる可能性があり、歯科口腔外科と共同して行っている。文献的にも、口腔ケアの施行は、VAPを始めとした術後肺合併症の頻度低下などメリットが期待されている。

従って、脳神経外科以外の緊急手術（心臓血管外科など）でも、看護師が実施可能となるように、ICUでの口腔ケア実習を依頼し、3月末よりICUで実習するシステムを開始した。今後は更なるシステムの構築、定着を目指す。